



第93話 ～厚生事業より～ 健康増進も大切なお仕事です



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。一日人間ドックの利用者は、県内で当JA管内の方が最多で、皆さんの健康志向がうかがえます。より高度な専門ドックもありますので受診してはいかがでしょうか。

今年専門ドックを受診しようかな

病院で受診するのもいいけど

JAが推進する年1回の送迎・昼食つき専門ドックを受診してみない？

JA岩手県厚生連の人間ドックセンターでは脳ドック・心臓ドック・肺ドックの3種類を受診できるの

しかも専門ドックは組合員とその家族はJAの助成が付いて少しお得になるわ

脳ドック
脳梗塞、脳動脈瘤などの早期発見へ

心臓ドック
心筋梗塞、狭心症などを早期発見。動脈硬化の進行の予測もできる

肺ドック
肺がん、肺気腫、肺炎の早期発見

※3種類から組み合わせて受診いただくとさらにお得になります

地産地消食材を使ったおいしい昼食も付くし

人間ドックセンターへの移動は各地区の営農経済センターから厚生連が送迎するから眠っていても大丈夫よ!

長距離運転は疲れるから助かるわ

人間の健康診断や人間ドックを受診しつつ専門ドックを2〜3年おきに受診しておけば大病を未然に防げる可能性があるわ

なるほどね!

毎年1回
健康診断(人間ドック)
2〜3年おき
専門ドック

JAの専門ドックは年々受診者が増えていて毎回定員は早い者勝ちで埋まってゆくから早めに予約を入れてね

お姉ちゃん! JAはなぜそんなに組合員の健康増進に力を入れているの?

農業協同組合だよわ!!

そこにギモンを向けてくれるなんてうれしい限りだわ!!

現在ではどこに住んでいても恵まれた医療を受けられるけど昔の農山村地域は医療体制が弱く農作業をするときに発生しやすい病気や農業の機械化に伴う労働災害に苦勞していたの

そこでJAは地域医療を良くしようと病院・診療所を設置・運営したり健康診断や保健指導に取り組んだのがJA厚生事業のはじまりなのよ

そっなんだ! ますますJAが身近に感じたよ

そう? 良かったわ

チラシが来たらすぐ予約するよ!

▽明けましておめでとうございませう。昨年は、コロナ禍でイベントの中止が相次ぎましたが、ワクチン接種が進んだことや感染防止対策により、活動が再開された事業もありました。女性部大会・家の光大会も2年ぶりに開かれ、規模縮小した内容でも女性部員のいきいきとした活動と笑顔に出会えました。本年も地域で活躍する農業者や地域の皆さまの活動の笑顔を伝えていきたいと思っておりますので、取材への協力をよろしくお願いたします。(及川)

▽明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願いたします。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いている中開催された、いわて南牛枝肉研究会では、年末年始の需要から消費の回復を願う声が多く聞かれ、コロナ禍で厳しい状況でも歩みを進める生産者のひたむきさを感じました。本年も、農業者の皆さんの取り組みや地域の魅力をたくさん紹介できるよう取材にお邪魔したいと思っております。よろしくお願いたします。(阿部)

